

事業報告

(2022年度)

【2022年4月1日～2023年3月31日迄】

1. 事業概要	1
2. 事業実績	
(1) 人材育成事業（資金援助）	2
(2) 人材育成事業（褒賞）	4
(3) 人材育成事業（自主事業）	5
(4) 調査研究事業	6
3. 選考過程	6
4. 会議実績	
(1) 理事会	7
(2) 評議員会	7
4. その他	
(1) 許認可および登記等に関する事項	7
(2) 寄附金に関する事項	8
(3) 附属明細書	8

公益財団法人 日産財団

2022年度事業報告

1.事業概要

前年度までに法人の大きな経営課題(財務体質強化、事業リニューアル、コロナ禍対応、等)が一段落し、今年度から新たな中期計画(以下、新中計)を開始した。新中計では2024年に財団創立50周年を踏まえ、半世紀の総括と次半世紀の安定成長に向けた基盤固めを行う。新中計初年度の今年度は、業界トッププレゼンスを目指して各事業が価値向上に取り組み、計画を完遂した。

(1) 人材育成事業(資金援助)

理科教育助成は、従来の「4 県教育委員会推薦」方式から「全国公募」方式の新制度に変更され、49 件の助成校が無事に成果を上げた。また、今年度募集からは助成金額を40 万円から50 万円に増額し、魅力を向上した。

(2) 人材育成事業(褒賞)

理科教育賞はリカジョ育成賞と併せて3年ぶりにリアル式典を実施し、成果発表を広くオンライン配信するハイブリッド方式で共有した。

(3) 人材育成事業(自主事業)

未来のリーダー教室について中高生編をリアルとオンラインで2回実施し、教育コンテンツを映像化したパッケージ開発を完了した。また、教員や教育団体関係者を招き見学/勉強会を実施し、同教室の学校現場導入に向けた準備を行った。

(4) 調査研究

早稲田大学との共同研究として、リーダーシップ研究を行い、未来のリーダー教室の教育コンテンツの理論背景と教授方法を補強した。

<2022年度助成実績>

助成事業			助成金等(千円)
人材育成事業	資金援助	理科教育助成	19,600
	褒賞	理科教育賞	2,700
	褒賞	リカジョ育成賞	1,600
	自主事業	未来の人材のための教員育成講座	2,155
		未来のリーダー人材育成講座	2,021
調査研究事業		リーダーシップ研究	2,975
合 計			31,051

2.事業実績

(1)人材育成事業(資金援助)

① 理科教育助成

今年度から、新時代に対応する助成制度をスタートし、小中学校の下記いずれかの取り組みに対し助成を行った。

ア 科学的思考力の育成を目指す理科教育実践研究

イ 創造性・問題解決力の育成を目指す先進的な科学教育実践研究

<総数49件 総額1,960万円>

所属機関名	テーマ
藤崎町立明德中学校	地域産業「りんご」からの学び～「ふじ」誕生80年
泉崎村立泉崎中学校	探求活動に意欲的・主体的に取り組み、科学的に表現する能力の育成
いわき市立勿来第一中学校	理科を学ぶ楽しさや有用性を感じ、思考力を高め合える活動の工夫 ～実験の個別化とICTを用いた協働学習を通して～
いわき市立湯本第三小学校	対象と正対し繋がりながら、新たな価値を見出す子どもの育成 ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」を基軸にした授業作りを目指して～
小野町立小野小学校	「人・もの・こと」と豊かに関わり、自己の学びを創り上げていく子どもの育成
喜多方市立塩川中学校	「楽しくなければ理科じゃない」実物の持つ力から学びへ向かう力の育成
下郷町立下郷中学校	生徒一人ひとりが主体的・対話的に学び、科学的に問題を解決するために必要な知識・技能を育成する授業の在り方～粒子概念の獲得～
南相馬市立原町第三小学校	自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせることを通して、問題を科学的に解決していく資質・能力を育むための理科の授業の在り方～根拠を明確にして協働する子どもの育成を通して～
本宮市立白沢中学校	理科の見方・考え方を働かせ主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業 ～ICT(タブレット端末等)の効果的な活用を通して～
牛久市立牛久第二小学校	理科における問題解決の力を育てる学習指導の在り方
大子町立生瀬小学校	児童の未来を幸せに生きる力を育む令和型ハイブリット教育の推進 ～身近な自然環境(やまびこ池)と先進的なICT環境の活用をとおして～
銚田市立銚田南中学校	地域資源を活用したエネルギー・環境教育の実践
宇都宮大学共同教育学部附属小学校	主体的な問題解決を通して学びをつなげる授業の展開
栃木市立吹上中学校	探究課題の解決を通して学びのおもしろさを感じるカリキュラムの開発
日光市立今市第三小学校	未来を切り拓くクリティカルシンキングや仮説設定能力の育成を目指す理科教育実践 ～STEAM教育における問題解決の道具としてのICT活用を通して～
壬生町立壬生北小学校	センサーを活用したプログラミングによる学校環境SDGsの実践
成城学園初等学校	「プロジェクト解決ハイブリッドカー」から新たな価値を創造できる子を育てる。
創価中学校	中学校理科の授業におけるPCR法を用いた身近な河川環境分析
東京学芸大学附属竹早中学校	科学技術の開発や科学理論の発見過程から創造的な思考力の育成を目指す理科学習
愛川町立菅原小学校	『協働的な課題解決学習』を通して、「言語能力」「情報活用能力」「問題発見・解決能力」を育成する～STEAM 教育を通して～
伊勢原市立成瀬中学校	解決能力育成のためにICTを利用したこれからの理科教育に向けて
海老名市立今泉中学校	SDGsの取り組みに繋げ 明るい未来として前を向いて歩ける科学的視点を培う
小田原市立片浦小学校	自ら問いを見だし、主体的に問題を解決する児童の育成 理科の見方・考え方を働かせる、ICTの最適な組み合わせを探る実践を通して～

所属機関名	テーマ
川崎市立川崎高等学校附属中学校	学びに向かう力、人間性等を涵養する理科授業デザインに関する研究 ～デジタルによる学習を方策として～
相模原市立相原小学校	進んで問題解決し、互いに学び深め合う子供の育成 ～学びがつながる、未来へつながる生活科・理科の授業づくり～
聖ヨゼフ学園小学校	MESHを活用した学年横断的な電気学習 ～電気自動車を教材として～
秦野市立本町小学校	“わかる・楽しい・役に立つ”を実現する理科教育
平塚市立豊田小学校	プログラミング的思考力の育成に向けて
三浦市立南下浦小学校	「帯活動」を活用して育む問題解決の力 ～三浦の地層に挑む～
南足柄市立向田小学校	ワクワクした次世代の学びを目指して ～GIGAスクール構想で導入した端末を生かしたSTEAM教育の推進～
横浜市小学校理科研究会	自然に親しみ、共に豊かな学びを創り続ける子どもの育成
長野市立南部小学校	理科天体学習におけるSTEAM教育を指向したものづくりカリキュラム －高度・方位計の制作を通して－
養老町立笠郷小学校	地域教材のデジタルアーカイブ化とグローバル教材を活用した理科授業の実践
三重大学教育学部附属小学校	知識を活用して新たな価値を創り出す授業 ～火星への旅と移住をテーマにした探究～
京都教育大学附属京都小中学校	京都から広がる世界 ～6年生の私たちにできること～
寝屋川市立第八中学校	360度実験映像の追体験が実験レポートに及ぼす影響
東大阪市立弥刀中学校	理科・技術の電気分野の教科横断型授業実践 ～オームの法則とmicro:bit
広島大学附属小学校	科学的探究活動において子どもの学びを促進するICTの活用
宇美町立桜原小学校	子ども一人一人が学ぶ喜びを感じる理科学習指導 ～学びの個別最適化、協働的な学びの活性化を目指したICT活用を通して～
遠賀町立広渡小学校	思考・判断・表現を促す理科学習指導 ～ICT機器を用いた学びの共有化による授業づくりを通して～
北九州市立南曾根中学校	自ら学び続け『考える力』を伸ばす学習指導 ～論理的思考力の育成を柱として～
筑前町立三輪小学校	見方・考え方を働かせながら根拠をもって主張できる子どもの育成 ～課題設定の工夫と効果的な ICT 活用を通して～
直方市立直方第一中学校	ICTを活用した科学的思考力を育成する理科教育のあり方
福岡市立大池小学校	子どもの思考し表現する力を一体的に育む理科学習指導法の研究
福岡市立香椎小学校	自分の考えを伝え合う児童を育てる指導法の研究
行橋市立今元中学校	SDGsの視点を取り入れた理科教育の実践 ～生分解性プラスチックの利用可能性についての授業を通して～
南関町立南関第三小学校	子どもの文脈を意識した単元構成の工夫と検証
鹿屋市立上小原中学校	全ての生徒が輝く物作り—STEAM 教育
さつま町立盈進小学校	そら(空・宇宙(そら))は待っている！！

② STEAM 教育フォーラム

今年度も引き続き、STEAM教育への理解を深め、同教育の導入を支援する目的で、『外部リソースを活用してSTEAM教育をはじめよう！』と題したフォーラムを開催した。

実施年月日：2022年10月29日(土)

実施方法：オンラインにて実施

パネリスト：井上祐巳梨(株式会社Babara Pool 代表取締役)

海浦 航平(株式会社リバネス人材開発事業部)

コーディネーター：加納 圭(滋賀大学教授、日産財団理事)

参加者：全国から応募した教育関係者約90名

(2)人材育成事業(褒賞)

① 理科教育賞

2022年8月4日(木)、横浜ベイシェラトンホテル&タワーズにて『第9回理科教育賞贈呈式』を開催した。当日は理科教育助成の2018年度助成対象者の中で、特に優れた実績を残した4校による実践内容のプレゼンテーションを行い、式典の模様をハイブリッド形式でオンライン配信した。最終選考の結果、下記の各賞受賞校が決定した。

【理科教育賞大賞 副賞100万円】

福岡県 行橋市立中京中学校

【理科教育賞 副賞各50万円】

福島県 相馬市立桜丘小学校

神奈川県 川崎市立東菅小学校

栃木県 栃木市立栃木中央小学校

【理科教育賞ポスターセッション賞 副賞20万円】

神奈川県 愛川町立中津第二小学校

② リカジョ育成賞

2022年8月4日(木)、『第9回理科教育賞贈呈式』と同時に『第5回リカジョ育成賞贈呈式』を開催した。当日は、女子小中高生を対象に、理系分野における興味・関心の向上や能力の育成を目的とした活動を行った団体の中で、特に優れた3団体による実践内容のプレゼンテーションを行い、式典の模様をハイブリッド形式でオンライン配信した。最終選考の結果、下記の各賞受賞団体が決定した。

【リカジョ育成賞 グランプリ 副賞20万円】

独立行政法人国立高等専門学校機構 小山工業高等専門学校

【リカジョ育成賞 準グランプリ 副賞10万円】

一般社団法人 スカイラボ、東京都立戸山高校

【リカジョ育成賞 奨励賞 副賞 5万円】

IFAC2023 Girls in Control 実行委員会、一般社団法人 情報オリンピック日本委員会、宇部工業高等専門学校 電気工学科、大阪大学 部局横断型 女性技術職員ネットワーク、国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学、大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構、兵庫県姫路市男女共同参画推進センター“あいめっせ、兵庫県立小野高等学校 藤原正人、宮城学院中学校高等学校 溝上 豊、立教女学院中学校高等学校

(3)人材育成事業(自主事業)

① 未来の人材のための教員育成講座

「未来のリーダー教室」を教員含む教育関係者に学んでもらい、教育に導入することを目的として、実際に「未来のリーダー教室」(導入編)をオンラインで実施するところを見学し、その後、会場での勉強会に参加して、意見交換を行った(一部オンライン参加)。

(ア) 中高校生向け「未来のリーダー教室」(導入編) 勉強会

実施年月日 : 2023年3月24日(金)

実施方法 : 会場集合方式

会場 : 早稲田大学 日本橋キャンパス(一部オンライン参加)

コーディネーター : 池上 重輔(早稲田大学商学大学院教授)

参加者 : 全国から応募した25名(教員7名、他教育関係者18名)

② 未来のリーダー人材育成講座

超スマート社会である「Society5.0」をリードする人材を育成するため、初等中等教育段階でリーダーシップの資質を萌芽・育成することを目的に、今年度は、高校生向けのワークショップを2回、会場集合方式で開催した。

(ア) 中高校生向け「未来のリーダー教室」(導入編)

実施年月日 : 2022年7月31日(日)

実施方法 : 会場集合方式

会場 : 早稲田大学 早稲田キャンパス

講師 : 池上 重輔(早稲田大学商学大学院教授)

福村 彩乃(リフレクトアート(株)代表取締役 CEO)

栗田絵莉子(玉川大学芸術学部助教)

宮本 道人(筑波大学システム情報系研究員)

久村 春芳(公益財団法人日産財団理事長)

参加者 : 全国から応募した10名

(イ) 中高校生向け「未来のリーダー教室」(導入編)

実施年月日 : 2023年1月21日(土)

実施方法 : 会場集合方式

会場 : 早稲田大学 早稲田キャンパス

講師 : 伊藤 賀一(プロ講師・著述業)

池上 重輔(早稲田大学商学大学院教授)

福村 彩乃(リフレクトアート㈱代表取締役 CEO)

栗田絵莉子(玉川大学芸術学部助教)

宮本 道人(筑波大学システム情報系研究員)

久村 春芳(公益財団法人日産財団理事長)

参加者 : 全国から応募した 20 名

(4) 調査研究事業

① リーダーシップ研究

超スマート社会である「Society5.0」をリードする人材を育成するため、初等中等教育段階において、リーダー資質を萌芽・育成することを狙いとして、未来のリーダーに必要な能力の萌芽・育成のための方法論に関する調査研究を行った。

初等中等教育段階におけるリーダー資質の萌芽・育成に関する調査研究

研究期間 : 2022年4月1日～2024年3月31日

共同研究者 : 学校法人早稲田大学総合研究機構

担当教授 : 学校法人早稲田大学商学大学院教授 池上 重輔

学校法人早稲田大学商学大学院准教授 村瀬 准

研究担当者 公益財団法人日産財団 常務理事 原田 宏昭

公益財団法人日産財団 ディレクター 大谷 利一

公益財団法人日産財団 石坂美佳子

研究費総額: 998 万円(研究実費)

今年度実施費用総額: 2,975 千円

3. 選考過程

助成事業	選考委員会	募集期間	応募数	採択数
リカジョ育成賞	2022/5/23(#1) 2022/8/4(#2)	2021/6/1～2022/1/23	26	13
理科教育助成	2022/11/11(#3)	2022/6/1～2022/9/15	66	50
理科教育賞	2022/5/23(#1) 2022/8/4(#2)	—	4	4

4. 会議実績

(1) 理事会

① 第1回理事会（2022年6月9日開催）

第1号議案 2022年度第1回評議員会招集決定の件

第2号議案 2021年度事業報告および会計報告書承認の件

第3号議案 選考委員選任の件

第4号議案 会計監査人の報酬の件

報告事項：

- ✓ 2021年度資金運用状況について
- ✓ 2022年度職務執行状況の報告の件

② 第2回理事会（2022年11月28日開催）

第1号議案： 選考委員選任の件

第2号議案： 基本財産構成資産変更の件

③ 第3回理事会（2023年3月8日開催）

第1号議案： 2023年度事業計画書・正味財産増減予算書承認の件

第2号議案： 2023年度契約書等承認の件（決済金額500万円以上）

第3号議案： 選考委員選任の件

第4号議案： 資金運用委員選任の件

報告事項：

- ✓ 2022年度資金運用状況について
- ✓ 2022年度職務執行状況について

(2) 評議員会

① 第1回評議員会（2022年6月28日開催）

第1号議案： 2021年度事業報告書および会計報告書承認の件

第2号議案： 監事選任の件

第3号議案： 評議員選任の件

第4号議案： 役員臨時報酬支払の件

報告事項：

- ✓ 2022年度事業計画書・正味財産増減予算書について

4. その他

(1) 許認可および登記等に関する事項

① 許認可

なし

② 登記

・変更登記(2022年6月28日評議員・監事・会計監査人)

③ 提出・変更届出・変更認定申請

- ・事業報告等の提出(2022年6月28日)
- ・変更の届出(2022年8月22日)
- ・変更の届出(2022年11月25日)
- ・事業計画の提出(2023年3月30日)

(2) 受取寄附金に関する事項

なし

(3) 附属明細書

2022年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項にて規定される附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。